



新春特別企画 学校給食で進む「地産地消」。 その意義と将来について語ろう！

新年のごあいさつ やまがた彩時季 News Topics 地域の話

食育のすすめ JA Information 旬の食材でプロが作るオリジナル料理②

地産地消

旬の食材でプロが作るオリジナル料理
つや姫水餃子

21



【泉 天成】
泉さんは18歳で料理の世界に入り、各地の大型ホテルや結婚式の中華料理店などで中華一筋に修業。現在は山形グランドホテル内の中華料理店「桃花苑」で調理長を務める。YBCラジオの料理番組でもお馴染み。「桃花苑」は営業時間11:30~14:30、17:00~21:00で無休。山形市本町一丁目7-42、電話023-641-2611(代)。料理はリーズナブルなものから本格中華まで何でもそろそろ。ランチは840円〜で、夜は一人4000円で飲み放題というお得プランもある。



【つや姫】
今回の食材は「つや姫」。先行販売した山形期待の新品種です。色が白くつやがあり、冷めてもおいしいお米です。食べたことのある方もいらっしゃるのでは？



●材料
つや姫のごはん…150g、むき海老…100g
白菜…1枚、タケノコ…30g、小ネギ…適量
生姜…少々、塩…小さじ2分の1
餃子の皮…30枚
調味料…少々、ゴマ油…少々、ネギ油…少々

●作り方
①ごはん以外の材料はそれぞれみじん切りにする。むき海老は包丁の腹でつぶした後、粗くみじん切りにする。

②①の材料とごはん、調味料類をボウルなどに入れて、味が均等になるようによく混ぜる。

③②の具(餡)を餃子の皮で包む。ゆでた時に口が開かないように端の部分をきちり接着する。

④白菜やタケノコ、にんじん、絹さや、長ネギなどを具材にした野菜スープをつくり、その中に餃子を入れてゆであがったらできあがり。スープは鳥ガラスープ等がよく、市販品に手を加えてもいい。

つや姫水餃子1日限定10食 桃花苑にて1/10(日)より発売中です。¥600(税・サービス込み)

今回の地産地消は、話題の「つや姫」を使ったお料理です。調理をお願いしたのは、山形グランドホテル内にある中華料理店「桃花苑」の泉調理長さんです。今回は、中国では正月に餃子を食べるという風習がある、という「つや姫餃子」を作っていたいただきました。つや姫以外のお米でももちろんOKで、ご家庭でも簡単にできるそうなので、皆様もぜひお試しください。

1	6	7		10	13
				D	
2					
		B			
3			9		
		8			
			C		
4					12
				11	
				A	
5					
				E	

パズル？ 頭の体操 出題●ニコリ 正解者には抽選でプレゼント！詳しくはP15へ。

👉 タテのカギ

- 源頼光や渡辺綱らに退治された、大江山の鬼の頭目
- 嫌な——が的中してしまった
- キュウリもメロンも、この仲間です
- 各地を転々として落ち着かない商売を、浮き草——といいます
- 漢字のテストや作文の宿題がある教科
- 宴会などで盛り上がりやすい アトラクション
- 深さがある容器
- 牛や馬に食べさせます
- 人件費や原材料費などに使うお金 これがないと商売が続けられません

👉 ヨコのカギ

- 今回は1泊2日のちょっとした旅です
- 乾燥させた赤ジンの葉を粉にしたもの
- テストでたくさん取りたいもの
- 発音は違いますが意味は同じです 「あす」「みようにち」
- 一番得意なこと
- 現実にはない想像上のこと ——の人物
- アメリカ大陸にすむオオカミに似た動物
- 捨てること 書類を——する
- おやつなどで食べるもの





新年のごあいさつ

山形農業協同組合
組合長理事 遠藤芳雄

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい平成22年を迎え、組合員皆様をはじめご家族皆様には、お健やかに過ごしのことと拝察し心よりお慶び申し上げます。

新春にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。
組合員の皆様には、常日頃より「JAやまがた」に格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。おかげさまで、厳しい経済情勢の中ではありますが、各事業とも2月末決算に向けおおむね計画どおり進展しております。あらためてご利用に感謝申し上げます。

さて、平成21年のわが国の経済状況は、百年に一度といわれる未曾有の経済危機に見舞われ、世界的な景気後退の中で外需内需が停滞し、さらに円高が加わり、デフレスパイラルの恐れが高まっております。わが国農業においては、農業者の高齢化や農業従事者の減少傾向が依然として進行しており、一方ではWTO農業交渉・二国間交渉の動向や政権交代に伴う農業施策全般の見直し・農地制度や食料農業農村基本計画の見直しなどが国の食と農、地域とJAをめぐる環境は大転換期を迎えている現状であります。

このような情勢の中、昨年の11月19日に「第25回JA山形県大会」が開催されました。向こう3年間の取り組みとして、全国大会決議の実践とともに、本県重点実施事項として、「活力あるJAをめざす『4づくり運動』」の実践を決議いたしました。「農業生産額拡大と農業所得確保に向けた産地づくり」（JAグループ販売取扱高1,500億円の実現）、「多様化する組合員に対応したJAの組織基盤づくり」（農業経営

管理支援体制の確立）、「消費者・次世代とのパートナーシップづくり」（よい食プロジェクトの展開）、「JAの経営基盤づくり」（万全な財務基盤の確立）の『4づくり運動』を実践し、地域農業の振興とともにJAの組織基盤・事業の拡充とサービス機能の強化などに取り組み、活力あるJAをめざすものであります。

当JAも組合員皆様からの信頼と地域社会に貢献する「JAやまがた」をめざし、平成20年に「JAやまがた行動総合5カ年計画」を策定し計画実践に取り組んでいる最中であり、産地づくり」「組織基盤づくり」「グッドコミュニケーションづくり」「経営基盤づくり」を基本として、平成24年度を目標に進めてまいりますので、組合員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、今年度総代会で決議いただきました「園芸振興策支援事業」についてとりまとめましたところ、平成21年度事業対象者444名、事業費169,166千円（内行政等補助50,747千円）、支援額23,664千円（自己資金×20%）の見込みとなりました。単年度計画2,000万円を360万円ほど超える結果となりましたが、理事会の承認を賜り計画を前倒しして満額支援する予定であります。

また、行動総合5カ年計画の一環で役員定数削減を次年度より実施いたします。役員ブロック定数基準策定審議委員会の答申を基に、理事会で役員候補者推薦取扱内規の変更を行い、役員推薦区定数内規6名減の22名体制となります。これまで地区役員が担っていた地域・組合員と農協をつなぐパイプ役は、地区運営協力委員長を中心に担ってもらうことを考えております。地区からブロック、ブロックから全体への討議方式・組合員の意思反映ルート等については、各組織機関と協議しながらよりよい方向を考えてまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

新年の干支は「寅」であります。よく荒れる「寅年」といわれますが、これまでの市場原理主義への過度な偏重と効率一辺倒の社会経済の歪みを見直し、大転換期にある今こそ、協同組合理念に立ち返り、組合員皆様をはじめ地域住民皆様との結びつきを強化し、新たな協同の成果を実現していくことが最重要と考え、役員一同、怠りなく努力し信念を持って事業および体制改善に取り組み所存であります。

本年の農作物豊作、そして皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成22年元旦

迎春

組合長理事	遠藤芳雄
代表理事専務	長澤豊
代表理事常務	佐藤浩
常務理事	山川昭弘
理事	田中政弘
理事	小林重馨
理事	小谷藤一
理事	遠藤健一
理事	宮部勝幸
理事	塩野豊人
理事	高瀬傳八
理事	石黒忠司
理事	堀井正敏

理事	新関庄廣
理事	遠藤寛
理事	尾形昭一
理事	江口勘四郎
理事	吉田忠幸
理事	岡崎政志
理事	渡邊富男
理事	板垣平治郎
理事	北澤久敏
理事	渡辺新一
理事	岡崎輝明
理事	板垣政行
理事	城戸正美
理事	渡辺作十郎
理事	秋葉真作
理事	佐藤益治
代表理事	菊地義弘
常勤監事	佐藤栄助
監事	鈴木芳弘
監事	鈴木澄夫
監事	鈴木寛一
監事	武田富哉
監事	山口富哉
員外監事	古内佑司
参事	安達正志

本誌新年号の恒例となっている「新春特別対談」。2010年は山形市学校給食センター・所長の門脇孝一さんと、農事組合法人やまがたファーム・代表理事の丹野雅彦さんにご登場をお願いしました。山形市学校給食センターは昨年4月から新施設が稼働し、「地産地消」や「食育」に力を入れて取り組んでいます。やまがたファームさんはその給食センターにジャガイモを供給し、「地産地消」の大きな力となっています。今回はお二人に、学校給食の地産地消における協力的体制や、地産地消の意義、今後の展開など多方面から語り合っていました。

※対談は昨年12月上旬、山形市学校給食センター（山形市沼木）で行いました。

山形市学校給食センターでは今年、学校給食で「地産地消」を推進するため、やまがたファームさんとジャガイモの委託栽培協定を結ばれたということです。まずはそのあたりの経緯からお話いただけますか。
門脇 はい、ではかいつまんでお話しします。まず丹野さんが代表理事をされているやまがたファームさんとは、今年3月にジャガイモの栽培委託で協定を結ばせていただいたのですが、そもその発端となりましたのは、市川市長や市議会議員の方々が「地産地消」を重要課題ととらえ、それを学校給食でも推進すべきという意向を打ち出されたのが最初かと思います。それを受けて農政サイドが動き、教育委員会が連携する

◆新春特別企画◆

学校給食で進む「地産地消」。 その意義と将来について語ろう！！

形で動き、さらにJAやまがたや生産者団体の方々、学校関係の方々など、いろいろな方々が連携・協力しあいまして、学校給食の食材に地元・山形産のものを使う、という具体的な流れができました。そのひとつにやまがたファームさんの協定があったということです。

丹野さんは最初この話を聞いた時、どんなお気持ちでしたか？

丹野 このお話をいただいた時は、生産者として本当に光栄なことですし嬉しかったですね。自分の子どもたちもお世話になった山形市の学校給食に、自分たちがつくった作物を提供できるというのは、これは生産者として本当に嬉しいことです。ただ、我々は普段からジャガイモ作りはしていますが、それはほとんど自家消費で、出荷するために大規模にやるとどうなのか、その辺で少し不安もありました。学校給食用で子どもたちに食べさせるとなれば、安全安心が第一ですから、基準内であっても農薬や化学肥料は極力使いたくない。でもそれでちゃんと収量があげられるのか。だんだん季節が進んでいくうちにそういうプレッシャーが大きくなってきて、今年はジャガイモのことが常に頭から離れませんでした（笑）。

では無事に務めを果たすことができて、肩の荷が下りたという感じでしょうかね。今

山形市学校給食センター



学校給食で進む「地産地消」。その意義と将来について語ろう！



丹野雅彦
山形市大郷地区を中心とした農家9名で、平成16年4月に農事組合法人やまがたファーム設立し、その代表理事を務める。やまがたファームは現在、米の転作田(約50ha)で大豆、小麦、そば、ジャガイモを栽培。また山形市嶋地区の北側(樺野前地区)に味噌や漬け物の加工場を併設した「大郷ひろびろ直売所」を開設し、人気を呼んでいる。

丹野 無駄なコストもかかりません。こうして考えると、地産地消には本当にたくさんのメリットがありますね。

門脇 本場にそう思います。小学校から中学校までの9年間、1日3食のうち1食を給食が担当するのですから、その大切さは誰にでも分かっていただけだと思います。この成長期にどんなものを食べるかで、目に見えない差や違いが出てくるかも知れません。給食で地産地消を進めればコスト高になる場合もありますが、それに代えられないメリットがたくさんあると思います。関係者の皆さんには変わらぬご支援をお願いしたいと思います。

——そろそろ誌面も残り少なくなってきました。お話は尽きませんが、今日は本場に有意義なお話ができたと思います。山形市の学校給食における地産地消が今後進めば、他の自治体でもそういう流れは出てくるでしょうし、他にも多方面に好影響を及ぼすような気がします。そ

山形市学校給食センター概要

山形市では昭和42年度から飯塚町に学校給食センターを置き、市内18の小中学校に学校給食を提供してきました。昭和45年度には調理場を増設し、市内50の小中学校を対象を拡大。その後、「米飯給食の拡大」「バイキング給食やリクエストメニューの実施」「郷土食の導入促進」などを進めながら学校給食の充実に尽力されてきました。しかし、その施設も建設から約40年が経過して施設・設備の老朽化が著しくなってきたことから、市内沼木地区内に施設を移転することを決定。その新施設が昨年(平成21年)3月に竣工し、4月から稼働開始しています。最新の調理設備と万全の衛生管理システムを備えた新しい学校給食センターは、全国最大規模の1日に2万2000食をつくる調理能力があり、現在、山形市立の小・中学校全52校に、学校給食を提供しています。また同センターでは、新施設稼働とともに「地産地消」や「食育」にも力を入れており、今後ますます充実を図っていく予定です。

一環でもありまして、たとえば給食の時に、「今日のカレーに入っているジャガイモとニンジンとタマネギは、全部山形市でとれたものなんだよ」と先生が子どもたちに教えてくれたとすると、子どもたちは身近なところでいろいろな作物が生産されていることを学ぶでしょうし、感謝の気持ちや郷土愛などにまでつながっていくと思います。また生産者の方にとっても、子どもたちが喜んで食べているとなれば励みに感じてもらえるでしょうし、ひいては農業振興にもつながるのではないのでしょうか。

丹野 本場にそう思いますね。我々にとっ

でも本場に励みになることです。あと補足させていただけると、地産地消は作物を運搬する距離が短くて済むので、CO₂削減にもなります。地球温暖化対策が待たなしですから、これも大きな事ですね。



学校給食に自分たちの作物を提供できるのは、生産者として本当に光栄なこと。

丹野 無駄なコストもかかりません。こうして考えると、地産地消には本当にたくさんのメリットがありますね。

門脇 本場にそう思います。小学校から中学校までの9年間、1日3食のうち1食を給食が担当するのですから、その大切さは誰にでも分かっていただけだと思います。この成長期にどんなものを食べるかで、目に見えない差や違いが出てくるかも知れません。給食で地産地消を進めればコスト高になる場合もありますが、それに代えられないメリットがたくさんあると思います。関係者の皆さんには変わらぬご支援をお願いしたいと思います。

——そろそろ誌面も残り少なくなってきました。お話は尽きませんが、今日は本場に有意義なお話ができたと思います。山形市の学校給食における地産地消が今後進めば、他の自治体でもそういう流れは出てくるでしょうし、他にも多方面に好影響を及ぼすような気がします。そ

を担当されたわけですが、山形市給食センターでは他の野菜・果物でも地産地消を進めておられます。他にはどのような品目がありますか？

門脇 たくさんありますよ。まず野菜で山形市産のものが入っているのは、今年度は15品目あり、代表的なものはキュウリ、サトイモ、モヤシ、大根葉、セリ、春菊などです。あと割合は低くなりますが、ネギ、ほうれん草、白菜、大根、ナスなども山形市産が入っています。果物ではキウイとサクランボが100%山形市産で、主食の米も100%山形市産の

丹野 そういえば、私は山形市のバイオマス協議会の菜種油分科会にも関わっていた関係で、菜種油も納めさせていたのですが、評判はどうでしたか？

門脇 あの菜種油は他の油とミックスして使わせていただいて、コロッケを揚げたりしたのですが、その時はやはり味がいい、美味しいという声がかかり聞かれました。何か特別な栽培方法とかで栽培されたのですか？

丹野 いえ、特別なことはしていないのですが、実は菜種油も無農薬栽培なんです。とはいっても、もともと菜種には登

録農薬がないので、使うに使えないのですが。ですからこれ以上ない安全安心の油ですので、今後ともよろしくお願います。

門脇 あの菜種油はバイオディーゼル燃料としてリサイクルされているのですよね。

丹野 はい、七日町の市の駐車場1階にBDFという廃油をディーゼル燃料に変える機械がありまして、そこで処理することになっています。ですから菜種油については、環境に配慮した循環型のシステムができあがっているんです。

門脇 地産地消とともに、これからは環

境への配慮も忘れてはならないことですね。すでに当センターでは17台ある給食運搬車をすべてハイブリッド車にしたり、生ゴミや牛乳パックなどはリサイクルに回すなどして環境への配慮に努めています。ほかにも何かできることがあれば、検討していきたいと思っています。

——ところで、学校給食に地元産の食材を使うことの意味や意義について、ここで少しまとめておきたいのですが、門脇さんはどう考えますか？

門脇 やはり安全安心ということと、鮮度というのがあると思います。先ほど丹野さんも言われたように、自分たちの子どもも食べる学校給食に食材を納入するというと、生産者の皆さんも納入業者の方々も、本場に気を遣って生産され、吟味したものを入れていると思います。これは本場に大きいことだと思います。また日持ちしない食材であれば、近くで生産されたものは絶対的に新鮮ですし、美味し



今年、野菜類の23〜25%が地元産。それを30%くらいにしたいと思っています。

丹野 今回の我々が請け負っている休耕田の60アールに、種芋700kgを植えました。収穫目標は約6トン。無農薬で化学肥料も使わずに栽培しましたが、手間暇かけたおかげで目標以上の収量を上げられました。吟味して納めたので、実際に納入したのは5068kgになります。でも1年やって自信もつきましたし、今年度は9月と10月に納めただけでしたが、来年は9月、10月、11月と3ヶ月分くらいは納められると思っています。

——やまがたファームさんではジャガイ

はえぬき一等米を使用しております。またジャガイモと同様にタマネギとニンジンにつきましても山形市内の生産者団体さんと委託栽培の協定を結ばせていただいて、今年度はタマネギ約4トン、ニンジン約4トンを供給していただきました。タマネギは「村木沢あじさい営農組合」さんで、ニンジンは「西蔵王野菜生産組合」さんです。参考までに申し上げます。野菜類全体で山形市産のものが占める割合は、今年度は概算23〜25%程度になる見込みで、来年度以降はもっと地産地消を進め、30%くらいに持って行きたいと思っています。

丹野 今回の我々が請け負っている休耕田の60アールに、種芋700kgを植えました。収穫目標は約6トン。無農薬で化学肥料も使わずに栽培しましたが、手間暇かけたおかげで目標以上の収量を上げられました。吟味して納めたので、実際に納入したのは5068kgになります。でも1年やって自信もつきましたし、今年度は9月と10月に納めただけでしたが、来年は9月、10月、11月と3ヶ月分くらいは納められると思っています。

——やまがたファームさんではジャガイ



彩時季

◇初雪 「霞城セントラルからの眺望」 「山形市」

深夜に降り積もった雪は、
あたり一面を白い世界に変えました。
地球温暖化と言われて久しくなります。
年ごとに降雪量が少なくなっているようにも
感じますが、山々に積もった雪は
ゆつくりと溶け出し歳月をかけて川になり
春には圃場を満たし、草木を茂らし
川や海を浄化しているのです。



地域の話題

4つのエリアから 旬の話題をお届けします



幼稚園・保育園の
**食育の
すすめ**
○上山市立
あさひ保育園

休耕田を利用して、子どもたちに里芋の栽培体験。 高校生や近隣農家も参加して、世代間交流につなげる！

その「あさひ保育園」の一番の特色は、健常児も発達に障がいのある子ども達も同じクラスで生活し、共に育ちあう「統合保育」を開園時から行ってきたことです。

昭和56年には、県指定の障がい児保育のモデル園になり研究発表も行いました。統合保育によって「それぞれの子も自分が持っている能力を発揮しお互いを認め合いながら、優しい心、我慢する心、頑張る心を



上山市旭町にある「上山市立あさひ保育園」は、昭和50年4月の開園で、歴史のある保育園です。現在、同園に通う園児数は101名。園児の多くは新町、四ツ谷、旭町など近隣から通ってくる子どもたちですが、ちよっと離れた東地区（久保川、大門、牧野など）などから通園している子どもも少なくありません。その園児たちを、荒木みさ子園長をはじめとする総勢18名の先生方（臨時さんなど含む）で保育指導に当たっています。

育み、豊かな人間に成長する事を願っています。」と荒木園長は語ってくれました。

また一方で、力を注いでいるのが食育活動による「子ども達の食べる力」を育てることです。今年も、子ども達にとって初めてのいも煮づくりに意欲的に取り組みました。小穴地区の休耕田を借りて里芋の栽培に取り組み、上山明新館高校生や近くの生産農家の方にも指導役をお願いし調理を体験しました。自分達が考えたものに役割をもち、協力しながらつくる楽しさや一緒に食べる喜びを感じとり、給食のメニューや食材にも関心がでてきます。「いも煮」

をつくるすべての経験は子ども達に苦手なものも食べようとする姿や感謝の心を芽生えさせる豊かな経験となりました。

上山市の食育の歩みは古く平成2



荒木みさ子園長

年から食育活動をすすめてきており、4つの目標を掲げ保育園毎に、「楽しく食べる体験を通して生きる力を育む元氣な子ども」を目指しています。

- 地元でとれる食材への理解を深め、味がわかる能力を育む
- 苦手な食材をテーマに食べ物の大切さを知る能力を育む
- 自分で料理できる能力を育む
- 食べ物を選択する能力を育む

●統合保育をひとつの柱にして、食育に力を入れ、それをさらに世代間交流につなげている「あさひ保育園」。幼児保育のあり方として、ひとつの理想的な姿が見えたような気がしました。



文翔館特別企画展「出羽国村山郡 村絵図の世界」 昔の村の土地利用状況などを示した絵図等が50点 江戸時代の山形の様子や、暮らしを知る貴重な資料

山形市旅籠町にある文翔館で11月12日～12月13日、明治大学博物館所蔵「出羽国村山郡 村絵図の世界」と題した特別企画展が開催されました。この企画展は（財）山形県生涯学習文化財団と明治大学博物館の主

催で開かれたもので、江戸時代に村の実情（土地利用状況や災害時の報告など）を絵図に描いて記録した「村絵図」とそのパネル、および古文書類など計50点を館内ギャラリーに展示して一般公開しました。また11月21日には明治大学博物館の学芸員による記念講演もあり、予想以上の来場者で賑わったということです。今回展示された村絵図は、明治大学博物館が独自に収集し管理してきたもので、当時の村の様子や暮らしを知るうえでとても貴重なもの。文翔館ではこうした貴重な展示会を随時開いており、ホームページなどで案内していますので、皆様も一度足を運んでみてはいかがでしょうか。




山形市

YAMAGATA

「蔵王温泉スキー場安全祈願祭」 スキーシーズンの安全と利用客増を願って祈願祭！ 新企画を含むたくさんのイベントで、来客60万人を目指す

蔵王温泉スキー場で12月5日、「蔵王温泉スキー場安全祈願祭」が行われ、今シーズンのスキー客の安全と利用客増加などを祈願しました。この日は蔵王温泉スキー場上ノ台ゲレンデに、関係者約150名が集合。

午前11時から酢川温泉神社の岡崎宏宮司による神事を行い、地元自治体代表や関係者が玉串を捧げました。引き続き、蔵王パトロール隊の紹介と安全指導員委嘱状交付式があり、最後は天狗が餅つきを行って、つきたての餅を関係者に配りスキーシーズンの開幕を祝いました。蔵王温泉観光協会によると、蔵王温泉スキー場への今年の来客数は60万人を目指しており、その達成のためシーズン中さまざまなイベントを展開して誘客に努めていくとのこと。たとえば子どもが1日1,000円で滑れる日を月4回設けたり、「女将特選 美味しいものまつり」といった新企画を予定しているということです。他にも楽しい企画が目白押しですので、皆様もぜひご利用下さい。




山形市

YAMAGATA

二月の
まつり
イベント

- 【山形市】
- 2月上旬～4月上旬：やまがた雛のみち「名湯・蔵王温泉に伝わる時代 雛と蔵と古美術探訪」
 - 2/14(日)：山寺こけし雪だるま祭り・宝さがし
 - 2月中旬：山形旧暦初市
 - 2月下旬～4月上旬：山寺芭蕉記念館「企画展 雛人形の歴史展」

- 【上山市】
- 2/11(木)：カセ鳥
- 【山辺市】
- 2月中旬：まんだらの里作谷沢雪の芸術祭
 - 2月中旬～4月上旬：山辺町ふるさと資料館「ひな人形展」
- 【中山町】
- 2/27(土)：だんご木市

今月の表紙



山形市中里

石山廣信さん、梶子さん、
廣昭さん、貴子さん
廣耀くん14才、瑤子さん12才
晃成くん8才、顕成くん3才

石山さんでは、稲作70aと苺10a、花菊20aを栽培しています。中村さんは8人家族で、いつもにぎやか、笑い声がたえません。農閑期には仲間や友人と温泉旅行するのが何よりの楽しみだそうです。

JAやまがた千歳支店・長町支店の玄関に「寅」の絵 地元の組合員さんが提供してくださいました

この「寅」の絵は、山形市長町にお住まいの庄司純一さんの作品です。庄司さんは20年以上にわたり「謹賀新年」の書を提供してくださいました。今年は干支の「寅」の絵が入った書です。本当にありがとうございました！



農業界の革命児来たる！ 山形市新春農業講座を開催します！

- ☆と き 1月28日(木) 午後1時30分～午後3時30分
- ☆と ころ 山形市農業研修センター(山形市東古舘)
- ☆演 題 和を育み 郷土を敬し 園芸を志す
～和郷園の取り組みとこれからの農業経営戦略～
- ☆講 師 農事組合法人 和郷園 代表理事 木内博一
- ☆問 合 せ 山形市農政課 Tel641-1212内線429
- ※ 参加費無料。直接会場にお越し下さい。無料駐車場100台分あります。



木内氏

～地区別座談会が開催されます～

昨年度の地区別座談会にはたくさんの組合員の皆様よりご出席いただき、ありがとうございました。最も多かったご質問を、掲載・報告させていただきます。



Q, つや姫の作付けについて
A, 平成22年デビューの水稻新品種「つや姫」は、県内で2,500haの作付けが計画され、平成21年6月21日～9月10日までの期間で生産者募集が行われました。当JA管内では150件で133haほどの応募があり、県で認定審査を行っています(平成21年12月現在)。22年1月に県より認定者への認定証の交付が行われ、2月には栽培マニュアル研修会の開催と種子の配布が予定されています。

JAやまがたは「地域とグッドコミュニケーション」を心がけ皆様の声を大切にしてまいります。今年度もたくさんの方々のご意見をお聞かせ下さい。

パズル？ 頭の体操 12月号の答えを発表！

12月号のクイズの答えは「セイジンノヒ(成人の日)」でした。当選者(3名へギフト券1,000円分)は発送をもってかえさせていただきます。

【読者の声】

- ◇高松観音の「裸もちつき」ですが、一度食べたことがあります。細い棒のような餅ですが、とってもいい餅がつけるんですね。(山形市南半郷 1さん)
- ◇広報誌を読んで、いろいろな活動をされている方がいるんだなと元気づけられます。料理コーナーも、がんばって作ってみたいですね。(山形市下東山 1さん)
- ◇農業でがんばっている方々の意見を読んで励みになります。これからはがんばっている人の話題を載せてください。希望を持って仕事が出来ることがたくさんいる社会でありたいですね。(山形市成安 Kさん)



12月号の回答 A B C D E F
セイジンノヒ

理事会だより

●報告事項

- ・企画管理部
 1. 組合員(出資金)加入調書について
 2. JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
- ・生活福祉部
 1. 福祉事業の取り組みについて
- ・営農経済部
 1. 青果物販売状況について
 2. 平成21年産米集荷状況について
 3. 園芸振興策支援事業申請額について
 4. 平成22年度つや姫栽培申し込み状況について
 5. 日本農業を守る貿易交渉対応・水田農業政策の確立に向けた請願と要請について
- ・その他
 1. 平成21年10月末事業実績について

第10回
11月27日
開催

●協議事項

- 第1号議案 高額・員外貸出金について
- 第2号議案 正職員転換制度規程について
- 第3号議案 確定給付企業年金制度の導入および退職給与規程の変更について
- 第4号議案 平成21年8月期半期開示について
- 第5号議案 資産査定要領の一部変更について
- 第6号議案 組合員以外の者1人に対する信用の供与等の最高限度額の一部を変更する件について
- その他

JAやまがた 福祉相談窓口

☎624-8567

平成21年11月より、お手伝いしております。

気にしてみませんか？

あなたの日頃の生活(ご自分・ご家族・地域のこと)。介護・健康などについての心配なこと、お困りなこと、不安なこと、なんでもご相談ください。

担当：JAやまがた(本店)生活福祉課
生活相談員 五十嵐 浩美

- * お気軽に、支店・本店窓口においでください。
- * ご要望によりお伺いいたします。

こんな普段の生活のこと、なんでもご相談ください。

〈自分のこと・家族のこと〉

- ◎食事の様子が変わった
…食量・回数・汁物等でのむせり・固い物が食べにくい・口の渇き
- ◎ここ数ヶ月での体重の減少
- ◎日々、わけもなく疲れたような感じがする
…やれていたことが楽しめない、おっくう、面倒・横になることが多い・お風呂に入りたくない
- ◎外出や外に出る回数が減ってしまった
- ◎毎日の生活に不安を感じることもある
…周囲から「同じ事を聞く」等言われる・住所等スムーズにでない・同じ物を買ってしまう
- ◎毎日の動作に不安を感じることもある
…歩行・立ち上がり・転倒

〈家族のこと・地域のこと〉

- ◎(祖)父母の留守番が心配・不安
- ◎周囲に話しをしたり、人との交流の場がない
- ◎地域に心配な高齢者(独居)がいらっしゃる
- ◎介護保険ってなに…
- ◎家族の介護でのお困り事 等
まずは、お気軽にご一報ください。

パズル？ 頭の体操

問題
二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法
左の記入例を参考に官製はがきでご応募下さい。正解者の中から抽選で3名の方にギフト券(1,000円分)をプレゼント。締め切りは、1月18日(当日消印有効)です。どしどしご応募下さい。

「読者の声」あて先
〒990-8535 山形市旅籠町一丁目12-35
JAやまがた
広報クイズ係
集めています。

住所
〒990-8535
山形市旅籠町一丁目12-35
電話 023-641-1312
FAX 023-631-4714
Eメール sounmu@yamagata.or.jp

①答え
②当紙へのご意見やご要望、読者の声への一言
③住所・氏名
電話番号
(当紙の編集以外には使用いたしません)